

水野広徳 82 回忌イベント

ラジオ公開放送～『此一戦』から非戦へ 海軍史から見た水野広徳～



「世にびびらず、人におもねらず、
我はわが正しと思う道を歩まん」

松山市三津出身の言論人・水野広徳(1875～1945)は、明治 37 年、海軍将校として日露戦争に従軍し、その戦記『此一戦』はベストセラーとなりました。第一次世界大戦後に欧州の惨状を視察したことを契機に、一転して非戦・軍縮を強く主張するようになります。大正 10 年には軍部の反発を受けて退役を余儀なくされますが、その後も発禁処分を恐れず、率直で明快な筆致を貫きました。

日本の仮想敵国をアメリカとする新国防方針に異を唱え、日米開戦となれば「東京は一夜にして焼け野原になる」と予見した先見性は、歴史によって裏付けられました。豊富な軍事知識と戦地の実体験をもとに展開した平和論・軍縮論は、近代史の諸分野に大きな足跡を残しています。

今回は、大和ミュージアム館長として海軍史料や証言の記録、戦争史の継承に取り組んでこられた戸高一成氏を迎え、『此一戦』から非戦・軍縮へと至る水野広徳の歩みを、海軍史の視点から見つめ直します。あわせて、戦争を記録し、語り継ぐことの意味について考えます。

【日時】 2026 年 10 月 10 日(土) 12 時～13 時

【場所】 坂の上の雲ミュージアム特設ブース
(松山市一番町 3-20)

【観覧】 無料 *ミュージアム展示スペースは有料となります

『坂の上のラジオ』 テーマ『此一戦』から非戦へ 海軍史から見た水野広徳
ゲスト 大和ミュージアム館長・呉市参与 戸高 一成 氏



戸高一成 氏

【プロフィール】

昭和 23 年(1948)宮崎県生まれ。
財団法人史料調査会理事、昭和館図書情報部長などを経て、平成 17 年に呉市海事歴史科学館長に就任。令和元年、菊池寛賞を受賞。著書に『聞き書き 日本海軍史』、編書に『証言録』海軍反省会など。



番組プレゼンター 佐伯りさ

主催・発起人	蓮福寺	住職	山岡 宏
	NPO 法人アイムえひめ	理事長	菅 紀子
	南海放送株式会社	社長	山内 孝雄
共催	コンソーシアム明治松山		